

様式1「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する進捗状況調査 回答結果

概ね5年（令和8年度まで）で実施する取組

●：実施済み、◎：継続実施、○：実施中、×：未実施、☆：協力等、－：対象なし

( ) は取組方針で「対象外」となっている項目を示す

No	ハード・ソフト対策		課題の対応	目標時期	取組機関								奈良県	国			
	具体的な取組の柱	具体的な取組			1	2	3	4	5	6	7	8		奈良地方気象台	近畿地整 和歌山河川国道事務所	紀の川ダム 統合管理事務所	近畿農政局
					五條市	宇陀市	吉野町	大淀町	下市町	黒滝村	川上村	東吉野村					
<b>1. ハード対策の主な取組</b>																	
1	①洪水を河川内で安全に流す対策	河川整備計画に基づく河川改修の実施	M	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	-	☆	-	-
2		河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去等	M	引き続き実施	(●)	(●)	-	-	(●)	(-)	-	-	◎	-	☆	○	-
3		多数の家屋や重要施設等の浸水が想定される区間の保全対策(樹木伐採、土砂掘削等)	緊	引き続き実施	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
4	②危機管理型ハード対策	堤防天端の保護	M	R1年度から実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	☆	-	-
5		裏法尻の補強	M	R1年度から実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	☆	-	-
6		雨水排水施設や河川改修、予備又は移動式ポンプ等を活用した内水排除等の整備による重要インフラの機能確保	緊	引き続き実施	●	●	(-)	-	○	(-)	-	-	-	-	☆	-	-
7	③河川管理の高度化・充実	樋門、樋管等の無動力化、人員等の運用体制の確保	I K M	H29年度から順次実施	●	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8		利水ダム等、事前放流の実施・体制構築(大滝ダムの事前放流)	流	R3年度から順次実施	-	-	(○)	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
<b>2. 逃げ遅れゼロに向けた避難時間確保のための取り組み</b>																	
9	①県～市町村間のホットラインの整備に関する事項	ホットライン構築による県・市町村の連絡体制強化、住民への情報提供の確実な実施	C	引き続き実施	●	●	◎	◎	●	×	●	●	◎	-	-	-	-
10		避難指示の発令基準の設定	B	引き続き実施	●	●	◎	●	●	●	●	●	☆	-	-	-	-
11	②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成・更新・活用に関する事項	水位周知河川外における発令基準検討	B	引き続き実施	×	○	○	◎	○	×	○	●	☆	-	-	-	-
12		避難指示の発令に着目したタイムラインの作成・更新	D	引き続き実施	●	●	○	◎	●	×	●	●	☆	☆	☆	-	-
13		タイムラインの作成及び更新の支援	D	引き続き実施	-	-	(○)	(◎)	-	(-)	-	-	☆	☆	☆	-	-
14		タイムラインに基づく訓練の実施	D	引き続き実施	×	●	×	×	○	×	○	○	☆	☆	☆	-	-
15		多機関連携型タイムラインの拡充	緊	R2年度から順次実施	×	○	×	◎	●	×	○	●	☆	☆	☆	☆	-
16		想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表(ダム下流含む)	A	R1年度まで	-	-	-	(●)	-	(-)	-	-	●	-	☆	-	-
17		ダム操作に関わる情報提供や住民周知のあり方の検討	緊	R1年度から順次実施	-	-	(◎)	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●
18-A	③ハザードマップの作成・周知等に関する事項	洪水浸水想定区域図の水害ハザードマップへの反映	A	引き続き実施	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-
18-B		中小河川の洪水浸水想定区域図を反映した水害ハザードマップの作成	A	R5年度から順次実施	●	×	×	×	×	×	×	○	×	-	-	-	-
19		ため池ハザードマップの作成、周知	流	R3年度から順次実施	●	●	●	×	●	-	-	○	-	-	-	-	-
20		改正水防法への理解促進、浸水実績図の公表に向けた仕組みづくり	A	H29年度から順次実施	×	○	◎	×	○	×	○	○	☆	-	☆	-	-
21		広域避難に向けた調整及び検討	E	引き続き実施	●	-	○	○	○	×	○	●	☆	☆	☆	-	-
22		広域避難を考慮したハザードマップへの更新・周知	E	H30年度から順次実施	●	-	○	×	●	×	○	●	-	-	-	-	-
23		ハザードマップポータルサイトへ浸水想定区域(想定最大規模)を掲載	緊	引き続き実施	(●)	-	(●)	(●)	-	(-)	(●)	-	○	-	☆	-	-
24	まるごとまちごとハザードマップの検討	H	H30年度から順次実施	●	○	×	×	●	×	○	○	☆	-	☆	-	-	
25	③ハザードマップの作成・周知等に関する事項	避難場所並びに避難経路の指定・更新及び周知	G	引き続き実施	●	(●)	◎	○	●	◎	●	●	☆	-	-	-	-
26		避難が困難な地域や住民が逃げ遅れた場合などの応急的な退避場所の確保	緊	引き続き実施	×	×	(○)	×	○	×	●	●	☆	-	☆	-	-
27		住民一人一人のマイタイムライン・マイ防災マップの作成促進	緊	引き続き実施	◎	×	(○)	◎	○	(-)	●	-	☆	☆	-	-	-

様式1「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する進捗状況調査 回答結果

概ね5年（令和8年度まで）で実施する取組

●：実施済み、◎：継続実施、○：実施中、×：未実施、☆：協力等、－：対象なし

( ) は取組方針で「対象外」となっている項目を示す

No	ハード・ソフト対策		課題の対応	目標時期	取組機関												
	具体的な取組の柱	主要内容			1	2	3	4	5	6	7	8	奈良県	国			
					五條市	宇陀市	吉野町	大淀町	下市町	黒滝村	川上村	東吉野村		奈良地方気象台	和歌山河川国道事務所	紀の川ダム統合管理事務所	近畿農政局
28	④情報伝達・避難計画、平時からの住民への周知・教育・訓練に関する事項	要配慮者利用施設の現状把握	G	引き続き実施	●	●	○	◎	●	◎	●	●	◎	－	－	－	－
29		要配慮者利用施設の避難計画作成の促進および避難訓練の促進支援	G	引き続き実施	●	●	○	◎	●	×	●	●	◎	☆	☆	－	－
30		避難行動要支援者の避難支援体制の整備	強	R4年度から順次実施	◎	◎	○	◎	○	×	○	●	☆	－	－	－	－
31		避難所における感染症対策	強	R4年度から順次実施	●	◎	○	◎	○	●	●	●	☆	－	－	－	－
32	⑤避難行動のためのリアルタイム情報発信等に関する事項	リアルタイム情報の沿川住民への提供等	F	H29年度から順次実施	●	●	◎	◎	●	×	●	●	●	－	☆	－	－
33		防災施設の機能に関する情報提供の充実	緊	引き続き実施	－	－	(◎)	(◎)	－	－	－	－	●	－	☆	－	－
34		メール情報配信システムの構築、利用登録促進	F	H29年度から順次実施	●	●	◎	◎	○	○	●	●	●	☆	☆	－	－
35		簡易水位計、量水標、CCTVカメラの設置検討・整備	F	引き続き実施	●	○	×	×	●	◎	●	●	●	－	☆	－	－
36		レーダー雨量計等の代替手段の利用（情報提供場所の理解促進（ホームページリンク））	F	引き続き実施	●	○	×	●	○	×	○	○	●	－	－	－	－
37		メッシュ情報の充実（さまざまな地理情報との重ね合わせ等）・利活用の推進	F	引き続き実施	－	－	(◎)	(－)	－	－	－	－	○	◎	－	－	－
38		警報等における危険度を色分け表示（分かりやすい表示）	F	引き続き実施	－	－	(○)	(◎)	－	－	－	－	●	◎	－	－	－
39		ダム放流警報設備等の耐水化や改良	緊	引き続き実施	－	－	(－)	－	－	－	－	－	－	－	－	◎	－
40	浸水や停電により観測・監視ができなくなる水位観測所への対策	緊	引き続き実施	－	－	(－)	－	－	－	－	－	○	－	☆	－	－	
3. 被害の最小化のための迅速・的確な行動への備え																	
41	①水防活動の強化に関する事項	水防団員や消防団員・水防協力団体の募集・指定を促進	I	引き続き実施	◎	●	●	◎	○	○	○	●	☆	－	☆	－	－
42		出動基準の必要性の再確認、基準整備	I	引き続き実施	◎	●	●	◎	○	×	○	●	☆	☆	－	－	－
43		水防団（消防団含む）との情報伝達訓練の実施	I	H30年度から順次実施	●	●	●	◎	●	○	◎	●	☆	☆	－	－	－
44		関係機関が連携した実働水防訓練の実施（水防資材の点検管理含む）	I	引き続き実施	●	○	×	×	○	×	○	●	●	☆	☆	－	－
45		想定最大規模洪水を踏まえた浸水時においても災害対応を継続するための庁舎等施設の改修検討（自家発電装置等の耐水化など）	L	引き続き実施	●	○	×	×	○	○	○	○	－	－	－	－	－
46		想定最大規模洪水を踏まえた施設浸水を想定したBCPの検討	L	H30年度から順次実施	●	○	○	●	○	○	○	○	－	－	－	－	－
47	②水防活動支援のための情報公開、情報共有に関する事項	重要水防箇所の情報共有と関係市町等との共同点検の実施	J	R1年度から順次実施	●	○	×	×	○	×	○	○	×	◎	☆	－	－
48	③排水活動及び施設運用の強化に関する取組事項	排水施設等の検討・整備	K	H30年度から順次実施	●	●	×	×	●	×	●	●	☆	－	☆	－	－
49		排水設備の耐水化の強化	緊	引き続き実施	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	☆	－	－
50		大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	K	引き続き実施	－	－	(－)	×	●	－	○	－	○	－	☆	－	－
51	④土地利用に関する取組事項	浸水被害軽減地区の検討	K	引き続き実施	×	－	×	×	○	×	○	×	☆	－	－	－	－
52		適切な土地利用の促進、周知	K	引き続き実施	×	－	×	×	○	×	○	○	☆	－	－	－	－
4. 意識の啓発及び防災教育拡充のための取り組み																	
53	①防災教育や防災知識の普及	小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施	H	H29年度から順次実施	◎	○	○	◎	○	×	○	×	○	◎	☆	◎	－
54		水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報（出前講座の実施）	H	H29年度から順次実施	◎	○	○	◎	○	×	○	○	○	◎	☆	－	－
55		住民参加型の避難訓練の実施状況、今後の予定等の共有	緊	R1年度から順次実施	◎	●	○	●	○	◎	●	●	☆	☆	☆	－	－
56		高齢者福祉部局への協議会等の情報提供や、地区防災計画の作成、防災リーダー育成の支援など、共助の仕組みの強化	緊	R1年度から順次実施	◎	●	○	◎	●	○	○	○	○	◎	☆	－	－

様式1「水災害意識社会再構築ビジョン」に基づく奈良県紀の川圏域の減災に係る取組方針に関する進捗状況調査 回答結果

概ね5年（令和8年度まで）で実施する取組

●：実施済み、◎：継続実施、○：実施中、×：未実施、☆：協力等、－：対象なし

( ) は取組方針で「対象外」となっている項目を示す

No	ハード・ソフト対策		課題の対応	目標時期	取組機関								奈良県	国				
	具体的な取組の柱	具体的な取組			主な内容	1	2	3	4	5	6	7		8	奈良地方気象台	近畿地整		近畿農政局
						五條市	宇陀市	吉野町	大淀町	下市町	黒滝村	川上村		東吉野村		和歌山河川国道事務所	紀の川ダム 統合管理事務所	
<b>5. 土砂災害に対するハード対策の主な取組</b>																		
57	①防災施設の整備等		レッド区域における24時間利用の要配慮者利用施設、代替性のない避難所の安全対策の強化	緊	R1年度から順次実施	－	－	(○)	(○)	－	－	－	－	－	－	－	－	
<b>6. 土砂災害に対するソフト対策：逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み</b>																		
58	①情報伝達、避難計画等		危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	緊	引き続き実施	－	－	(－)	(◎)	－	－	－	－	◎	☆	●	－	
59			土砂災害警戒区域に関わる現地での周知方法の検討	緊	引き続き実施	●	●	×	◎	●	×	○	○	◎	☆	－	－	
60			大雨警報（土砂災害）の危険度分布等、土砂災害警戒情報を補足する情報提供	緊	引き続き実施	－	－	(○)	(◎)	－	－	－	－	◎	◎	－	－	
<b>7. 複合災害に対するソフト対策：逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取り組み など</b>																		
61	①情報伝達、避難計画等に関する事項		土砂災害・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所のうち緊急性が高い箇所の事例などについて情報共有	緊	引き続き実施	－	－	(－)	(◎)	－	－	－	－	☆	☆	☆	－	
62			砂防堰堤、遊砂地等の整備と河川改修等が連携した効率的な対策を実施すべき箇所について検討	緊	引き続き実施	－	－	(－)	(◎)	－	－	－	－	☆	－	－	－	
					未実施項目数	7/43	3/37	14/49	15/50	1/42	24/37	0/40	3/38	－	－	－	－	
					未実施率	16%	8%	29%	30%	2%	65%	0%	8%	－	－	－	－	